

熱海市土砂災害義援金活動を行いました

令和3年7月3日に静岡県熱海市で発生した大規模な土砂災害で被災された方々及び被災地の復興・復旧への支援を目的に、7月19日～21日、26日～30日の8日間、校内で募金活動に取り組みました。始業前と放課後に生徒会役員が生徒玄関前に立ち、生徒へ募金の協力を呼びかけました。多くの生徒や先生方のご協力のもと、8日間で計9万3235円もの義援金が寄せられました。集められた義援金は、「日本赤十字社 令和3年7月大雨災害義援金」を通じて全額寄付し、被災地へ届けられました。

生徒会では、手作りの募金箱の作成や放送での事前告知など、活動実施の決定から開始まで短い期間でしたができるだけ迅速な被災地への支援ができるようにと、協力しながら準備を進めました。義援金活動を行うにあたり、たくさんの生徒や先生方からの募金の援助だけでなく、本校書道部に募金会場の看板作成の協力もお願いし、生徒会を中心に学校全体が一丸となって義援金活動を行いました。また、8月3日の神戸新聞には生徒会の義援金活動についての記事を掲載していただきました。

ひとりひとりの力は小さなもの、しかし、私たちにも力になれることがあるはず。そんな想いを胸に、義援金活動を行いました。たくさんの方から寄せられた温かい支援が被災された方々の一助となること、そして被災地の1日も早い復興・復旧を願っています。



募金会場の様子



神戸新聞に掲載された記事